

# 国立能登青少年交流の家について

能登半島の入口  
羽咋(はくい)市  
にあり、海と山に  
囲まれた豊かな  
自然の中にある  
教育施設です。

全国8番目の国立  
青少年教育施設として  
開所されて以来、  
様々な体験活動の  
機会と場を提供  
し続けています。

カッター・  
カヌー・いかだ  
(人気の水辺の活動)

アーチェリー  
(国立施設で唯一！)

「ヒノビィ」は  
能登青少年交流の家  
の大人気マスコット  
キャラクター！  
家族もいます。



砂像作り  
オリエンテーリング  
サイクリング  
野外炊事  
キャンプファイア  
などなど…

能登半島と富山県の  
一部にのみ生息する  
ホクリクサンショウウオ  
の学名「ヒノビウス  
タケダイ」から  
名づけられました。

能登半島と日本海を  
かたどった所章です。  
能登半島の8分割は、  
国立第8番目の施設で  
あることを意味して  
います。



「向上」と「躍動感」  
を形で表現しており、  
オレンジ色は  
「積極性」と「抱負」  
を表しています。